

【AIの進化で変わる開発手法】

AIのトレンドとAI駆動開発の始め方

これから必要となるノウハウを解説



安東 竜平

- ・2001年3月30日生まれ
- ・2024/2/8 に Link AI を起業
- ・事業内容:
 - AIエージェント
 - AIアバターの開発
 - AI駆動開発研修など
- ・LinuC Open Network (Linuxコミュニティ) の運営

ローカルAI導入パッケージ「AI AGENT BOX」

オープンソース関連取り組み

AI AGENT BOXは、TenstorrentのアクセラレータとLink AIが開発する業務特化型のAIエージェントを組み合わせたローカル完結型のAIエージェント導入パッケージ。

セキュリティ/通信制約/APIコスト/業務設計まで含めて「現場で実際に使える AI」を形にします。

AI AGENT BOX



Link AIの
AIエージェント

Tenstorrentの
AIアクセラレータ



想定活用例

社内情報/外部情報の
ディープリサーチ



過去文献/技術文書
社内情報 FAQ



ブログ執筆
スライド生成など



ポイント

ローカル稼働でセキュア

通信不要のため
どんな現場でも動作

電気代レベルの固定コスト
で、継続的に利用できる。

ユースケースを想定し実装
AI活用のハードルを下げる

宇宙業界/先端産業のAIトランスフォーメーション

オープンソース関連取り組み

宇宙業界におけるAIトランスフォーメーション(AIX)の推進に向けて、スペースNSプラン株式会社と業務提携を締結。本提携の第一弾プロジェクトとして、宇宙業界における「人材」「部品」「研究情報」などの探索課題を解決する、生成AIを活用した情報探索支援システムの共同開発を開始。



想定活用例

社内情報/外部情報の
ディープリサーチ



過去文献/技術文書
社内情報 FAQ



ブログ執筆
スライド生成など



ポイント

ローカル稼働でセキュア

通信不要のため
どんな現場でも動作

人材不足を解消

専門人材をパワーアップ

LinuC Open Networkとは

どんな人が参加している？

IT技術を活用する人の、成長と活躍を後押しする
「アウトプット共創型 エンジニアコミュニティ」



Linux等のオープンテクノロジーを活用するIT技術者として、
成長と活躍を目指す方々が参加しています。



より良いIT社会の実現へ

講演の目的

今後の「技術者としての成長」を加速

技術者を取り巻く環境の変化



「Builder Lab」にも関わらず

- ・営業マン
- ・マーケター
- ・経営者
- ・開発者

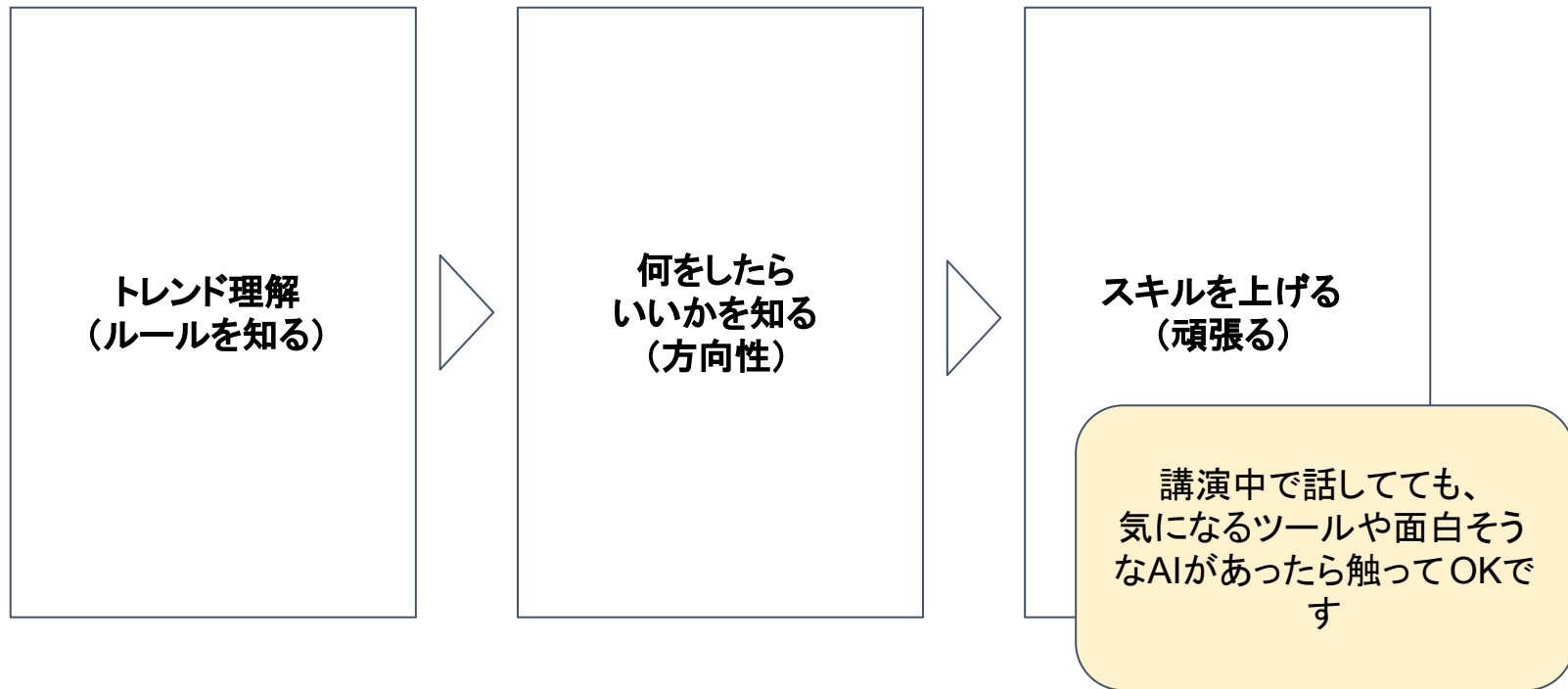


増えてきている「個人開発者」

技術者を取り巻く環境の変化



AI時代のエンジニアの開発手法の身につけ方
AI時代は「前提」の変化が激しいのでトレンドの理解が重要



- 1 前提となる背景
- 2 トレンドの理解
- 3 AI駆動開発とは
- 4 AI駆動開発の始め方
- 5 ネクストステップ
- 6 まとめ

トレンド理解

トレンドの理解：ここ最近のAIニュース

- Claude Code
- Claude Code SDK
- Gemini CLI
- Codex
- Curosr Slack対応
- Cursor スマホ対応
- haconiwa
- [ClaudeArtifacts](#)でAIアプリ作成
- Gemma 3n
- AIブラウザDia
- ChatGPTで検索コネクタ
- Googleが「Search Live」という音声検索
- Grok 4が出るかも???
- Gemini ネイティブ音声アップデート
- OpenAI Advanced Voiceアップデート
- ElevenLabs音声AIエージェント
- ElevenLabs Voice Design v3
- YoutubeにAI会話機能
- Google SpreadsheetにAI機能
- Claude Desktop Extensions
- Gemini Robotics On-Device
(ロボット内で動作する最先端 VLA モデル)
- Midjourneyのビデオモデル
- Gemini2.5安定版リリース

Claude Code 活用事例



押さえておくべき4つのトレンドは以下の通り。

AI精度向上

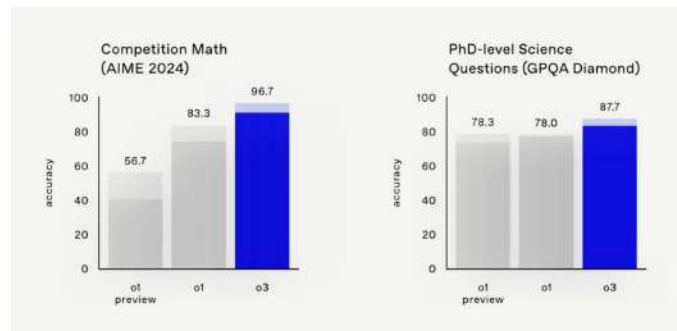
エージェント化

オープンソース化

AI精度向上

AIの性能は上がり続けている

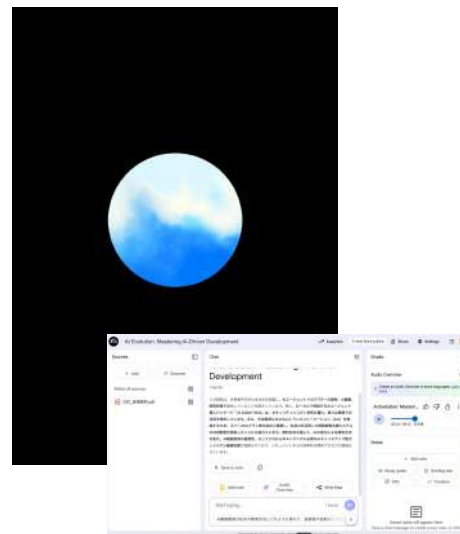
LLMの進化



画像/動画の進化



音声の進化



押さえておくべき4つのトレンドは以下の通り。

AI精度向上

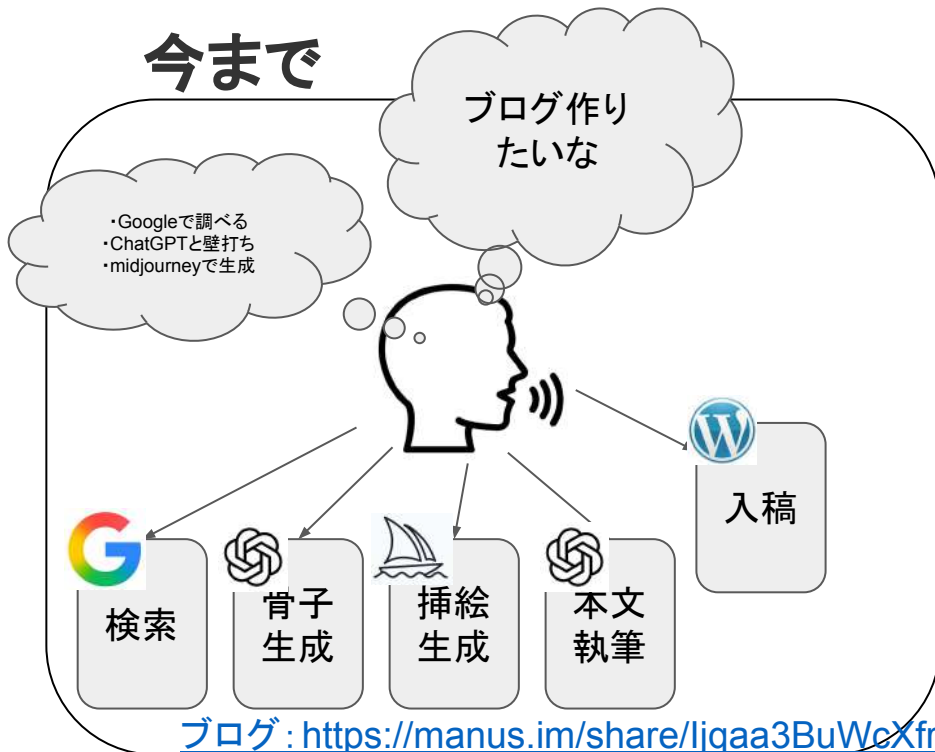
エージェント化

オープンソース化

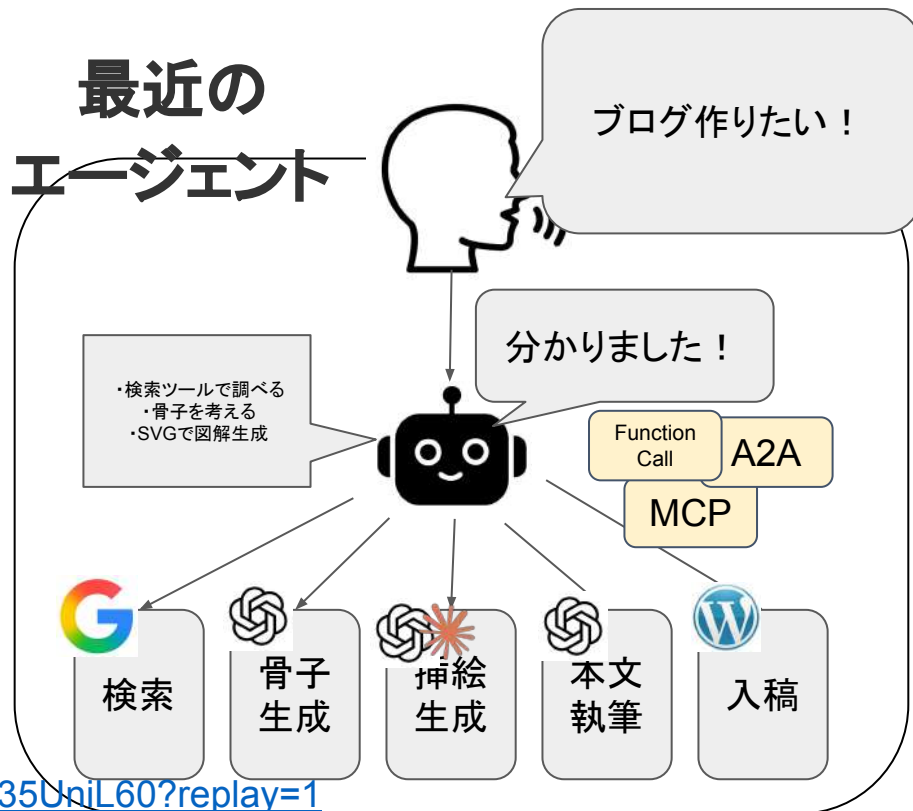
エージェント化

複数のツールを使いながら自律的になってきた

今まで



最近の
エージェント



ブログ: <https://manus.im/share/ljgaa3BuWcXfrq35UnlL60?replay=1>

マニュアル: <https://manus.im/share/pq7GV6gL7QXoDdW1LW7juS?replay=1>

ただし・・・以下のような課題も

AI精度向上

エージェント化

AIがより便利になりたくさん使われる

AIランニングコストの高騰 が大きな課題に

③オープンソース化

コスト、セキュリティの観点からオープンソースのAIも注目されています

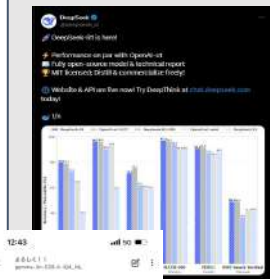
基盤モデル（オープンウェイト）

Deepseek

Qwen3

Gemma 3n

OpenAIもオープンモデル？



Qwen3

アプリケーション



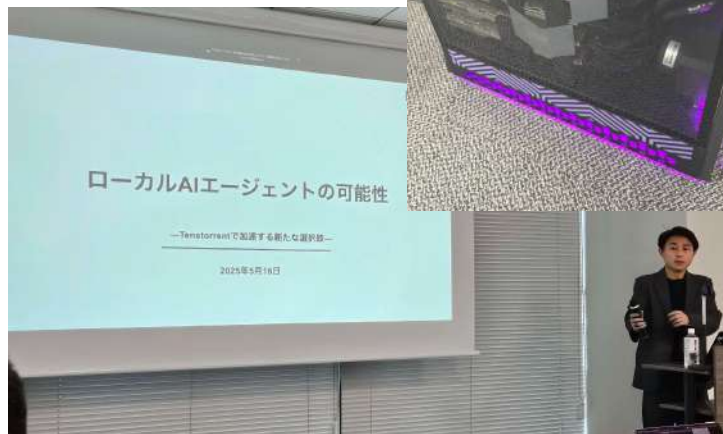
コーディング A I エージェント
Claude Codeが出た直後に
Googleが同じようなサービス
をOSSで公開

③オープンソース化

オープンウェイトのLLMをオンプレミスで動かすニーズは拡大している

gptやclaudeなどは従量課金のAPI利用

オープンLLMのオンプレ利用だと電気代のみで好きなだけ利用できる



AI時代の開発の論点2軸

(技術者としての成長のために)

どう開発する？ How

AIエージェントを活用した
AI駆動開発で
何人分もの生産性を誇る
エンジニアになる

参考:

[https://x.com/masa_zeals/status/
1937349068700942568](https://x.com/masa_zeals/status/1937349068700942568)

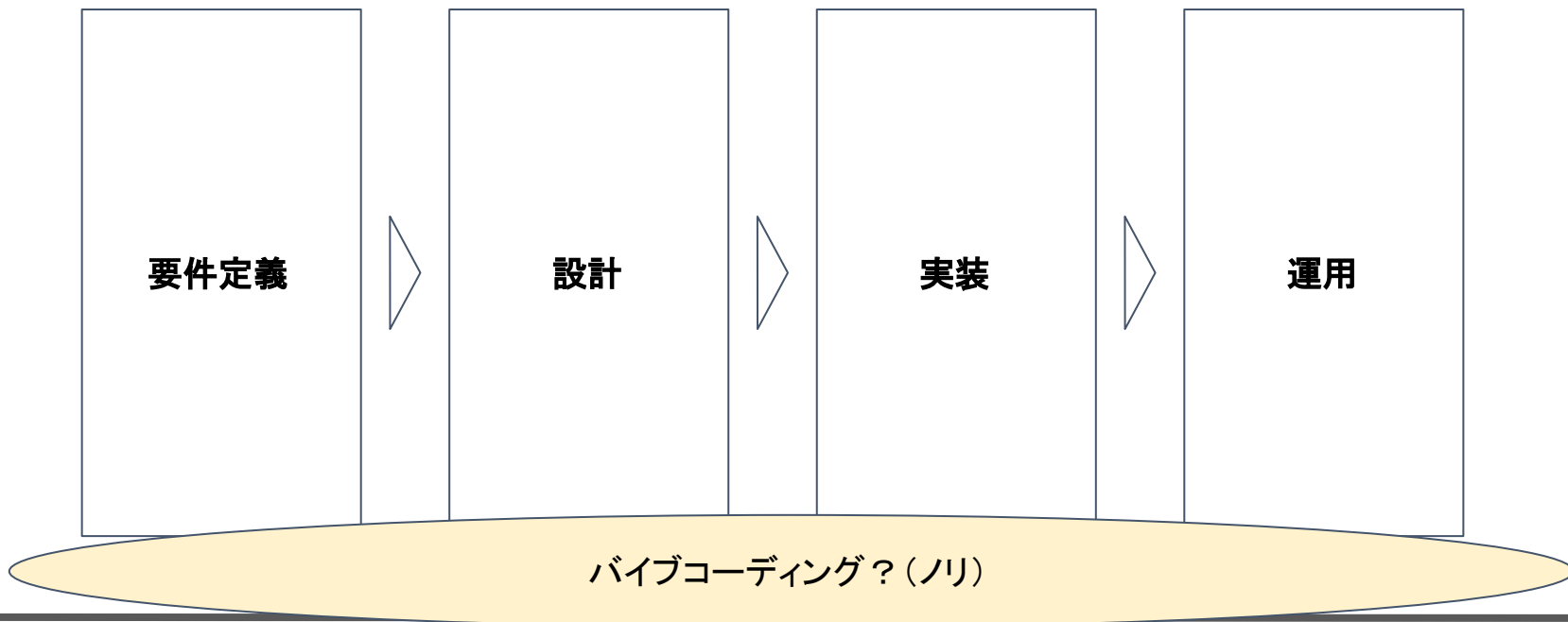
<https://www.omakase.ai/>

何を開発する？ What

AIエージェントを開発できる
さらにオープンソースに精通
ハードウェアにも精通
これができるとさらに価値高い

AI駆動開発とは？

このフロー全てに AIを活用し、高速で開発を回せる手法



イメージデモ

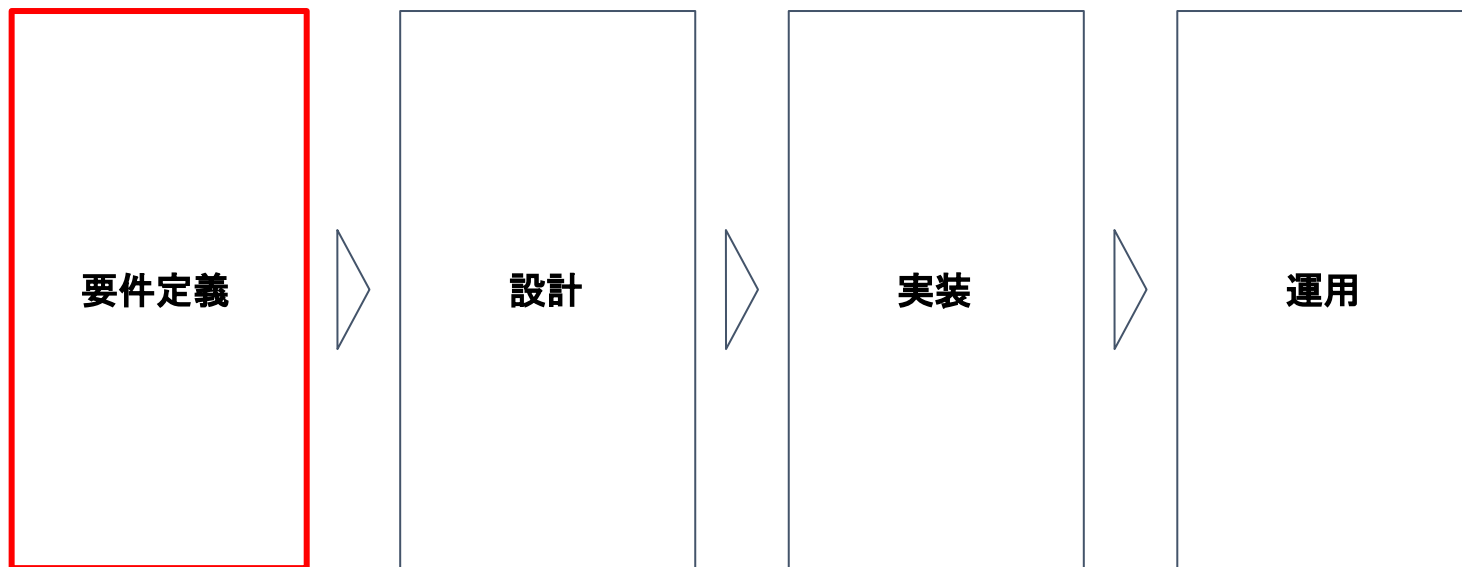
以下の課題を解決するシステムを実装する

課題(今回の設定)

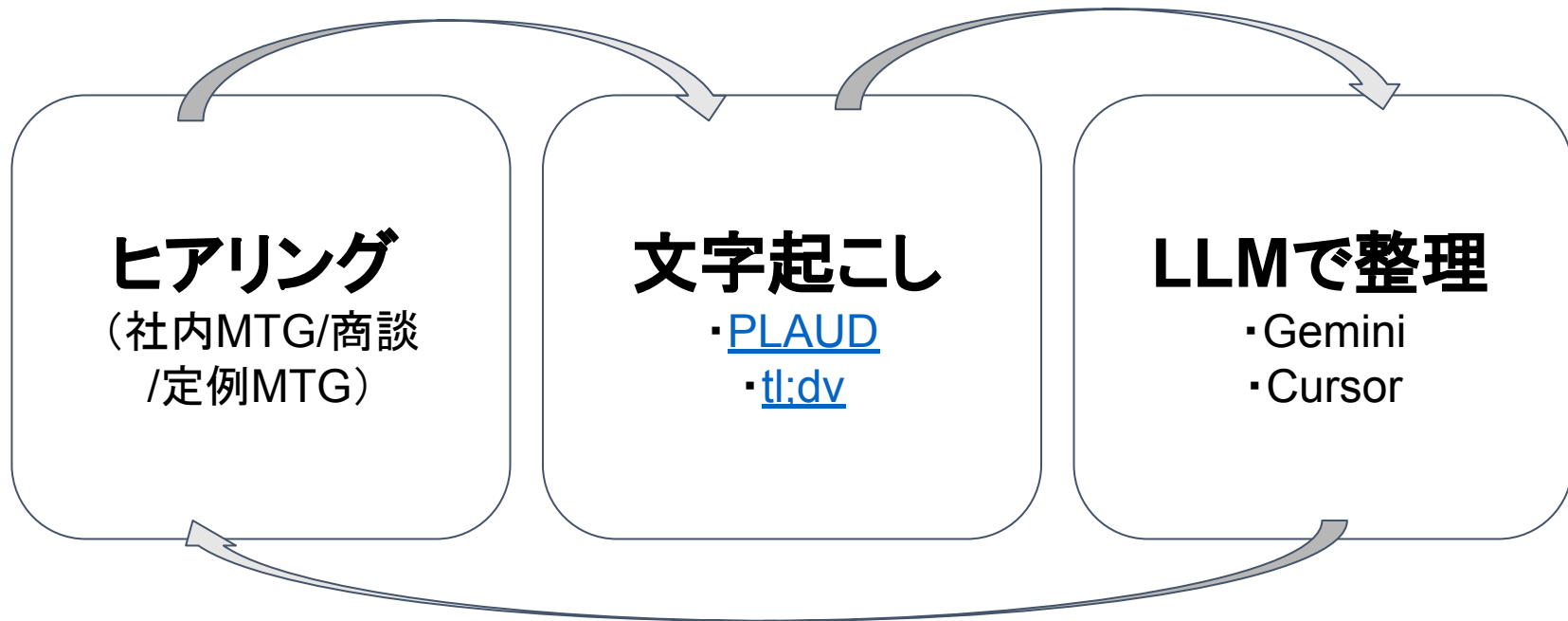
- ・生成AIを組織で活用していきたいけど活用率が低い
- ・多くのメンバーが生成AIの活用法がわからない

AI駆動開発とは？

このフロー全てに AIを活用し、高速で開発を回せる手法



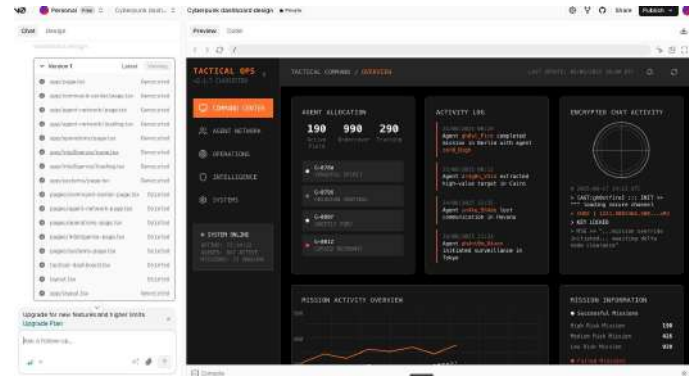
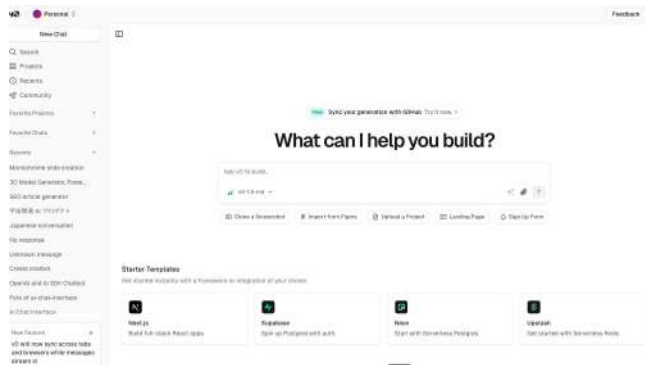
実際の要件定義でのAI活用例



要件定義テクニック

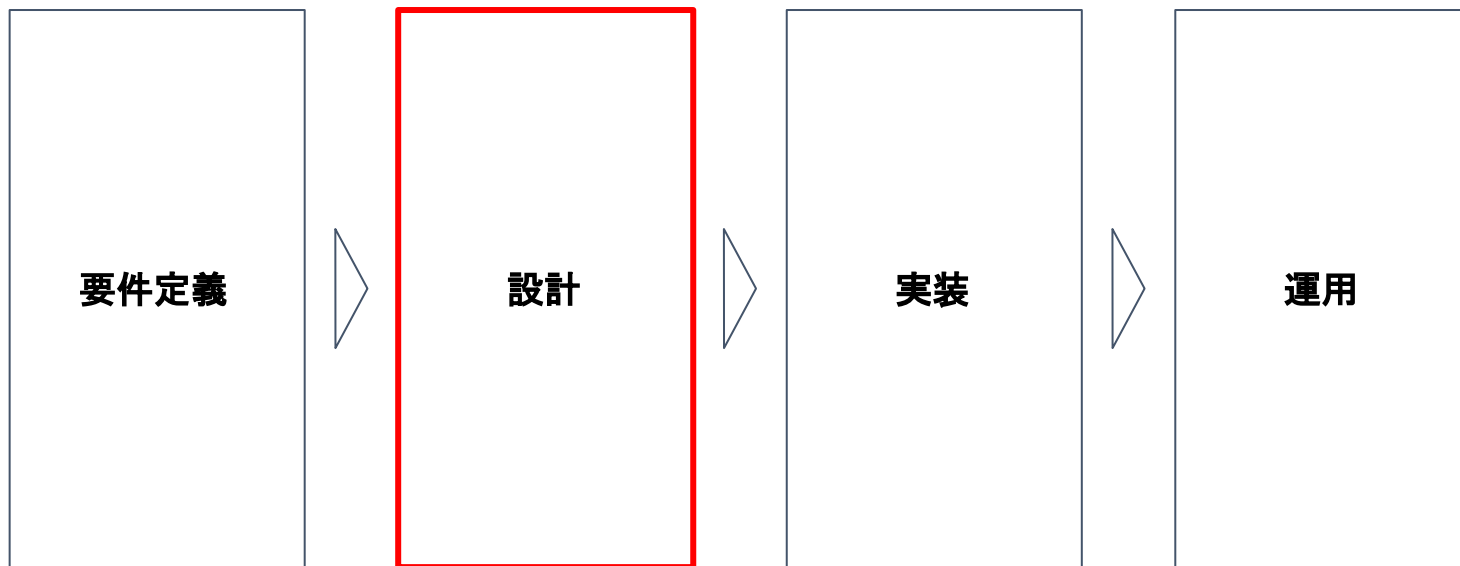
お客様と一緒に画面を制作する
→UIが最強の要件定義書になる

参考: https://x.com/itm_aiplus/status/1940962534225510638?s=46

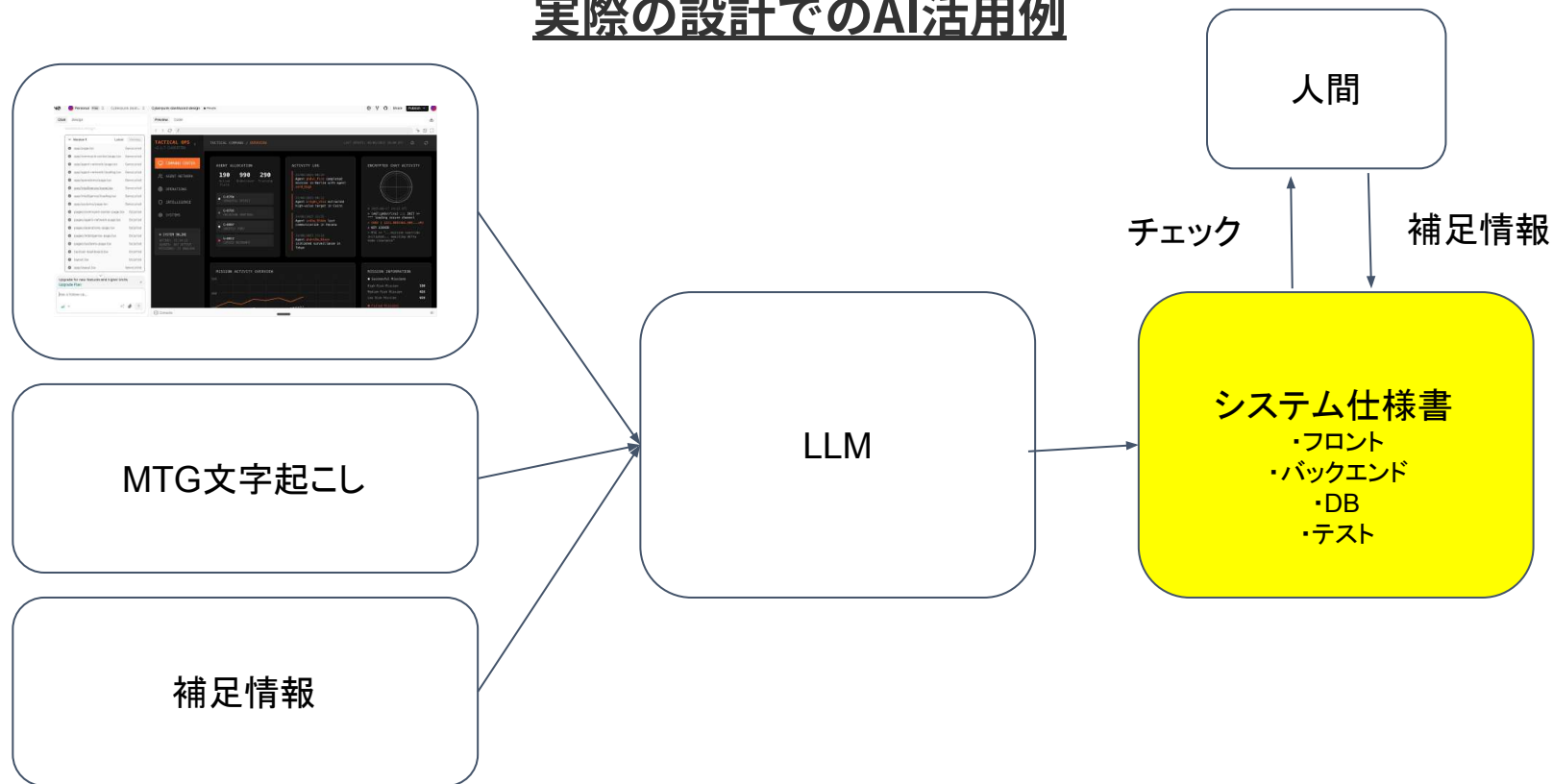


AI駆動開発とは？

このフロー全てに AIを活用し、高速で開発を回せる手法

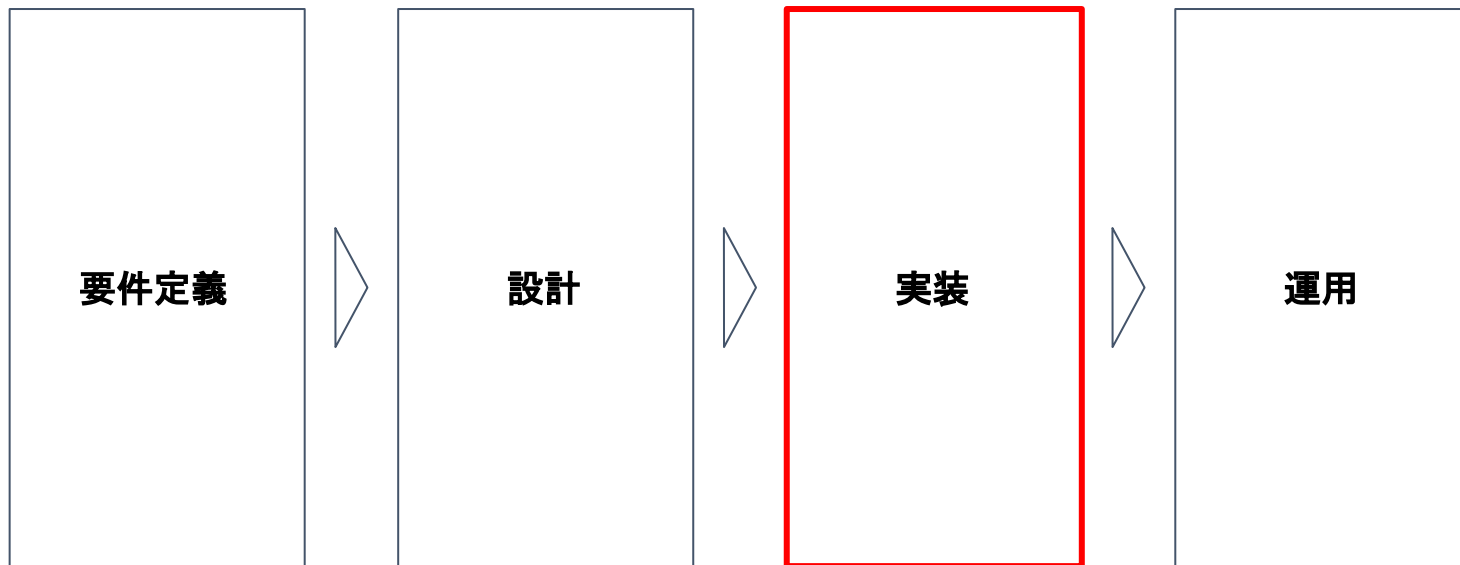


実際の設計でのAI活用例



AI駆動開発とは？

このフロー全てに AIを活用し、高速で開発を回せる手法

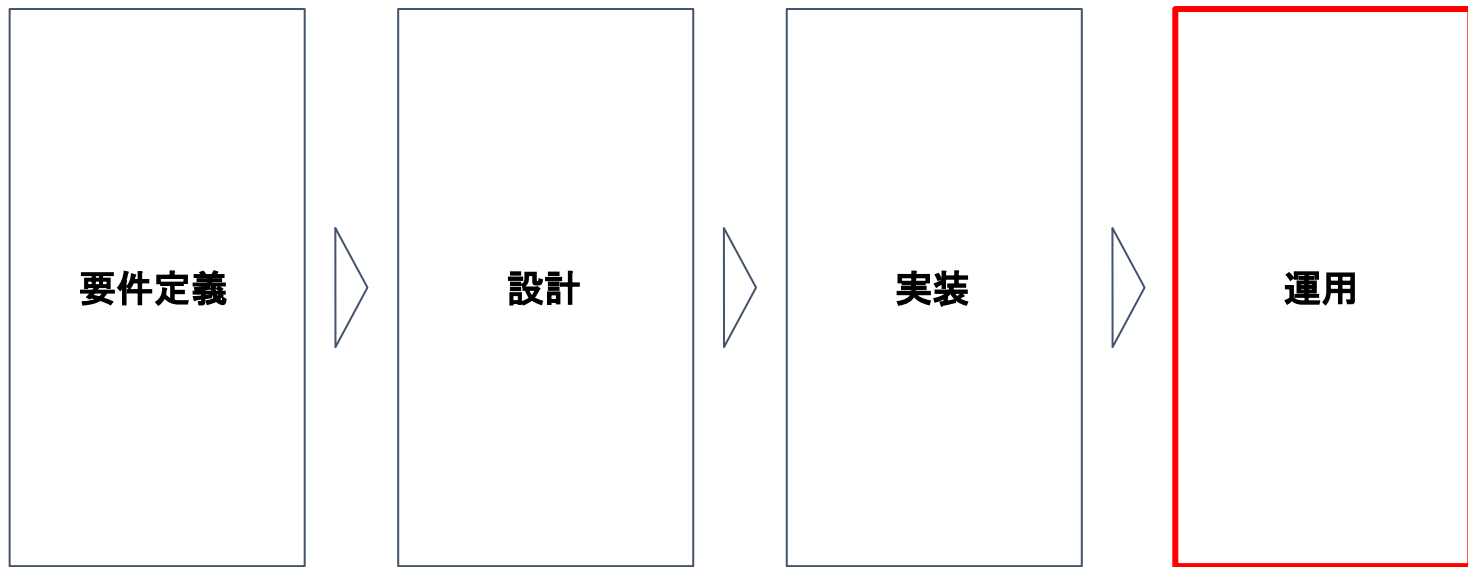


実際の開発でのAI活用例

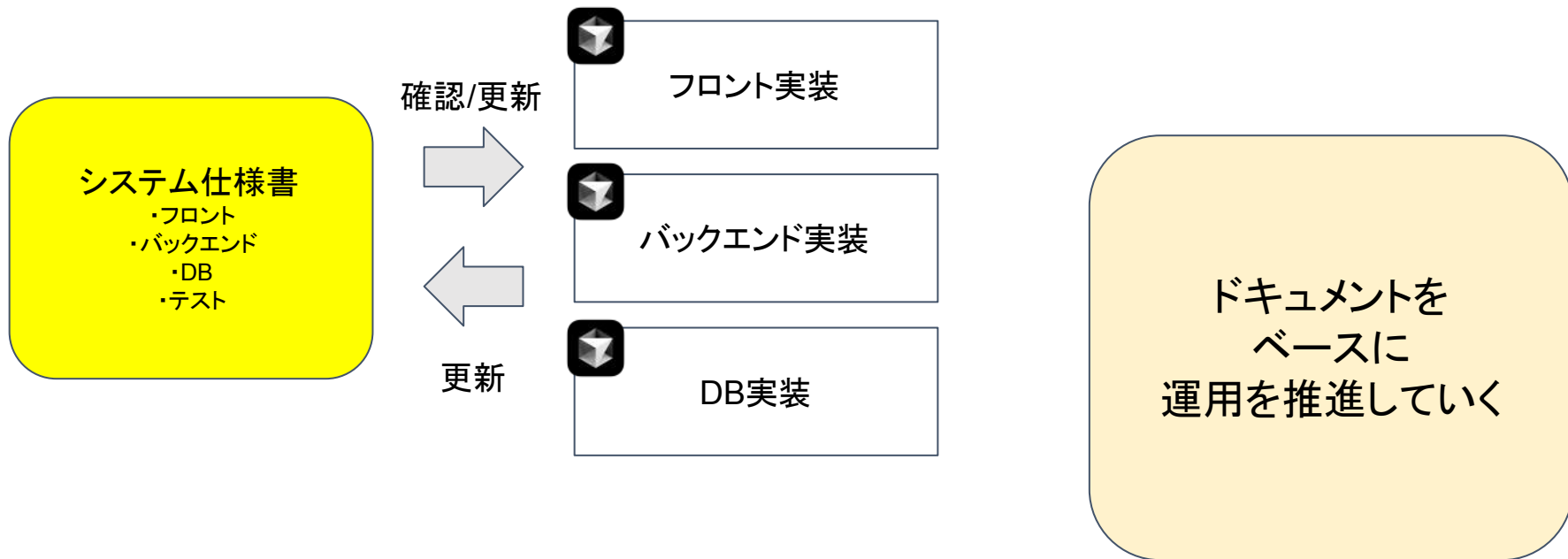


AI駆動開発とは？

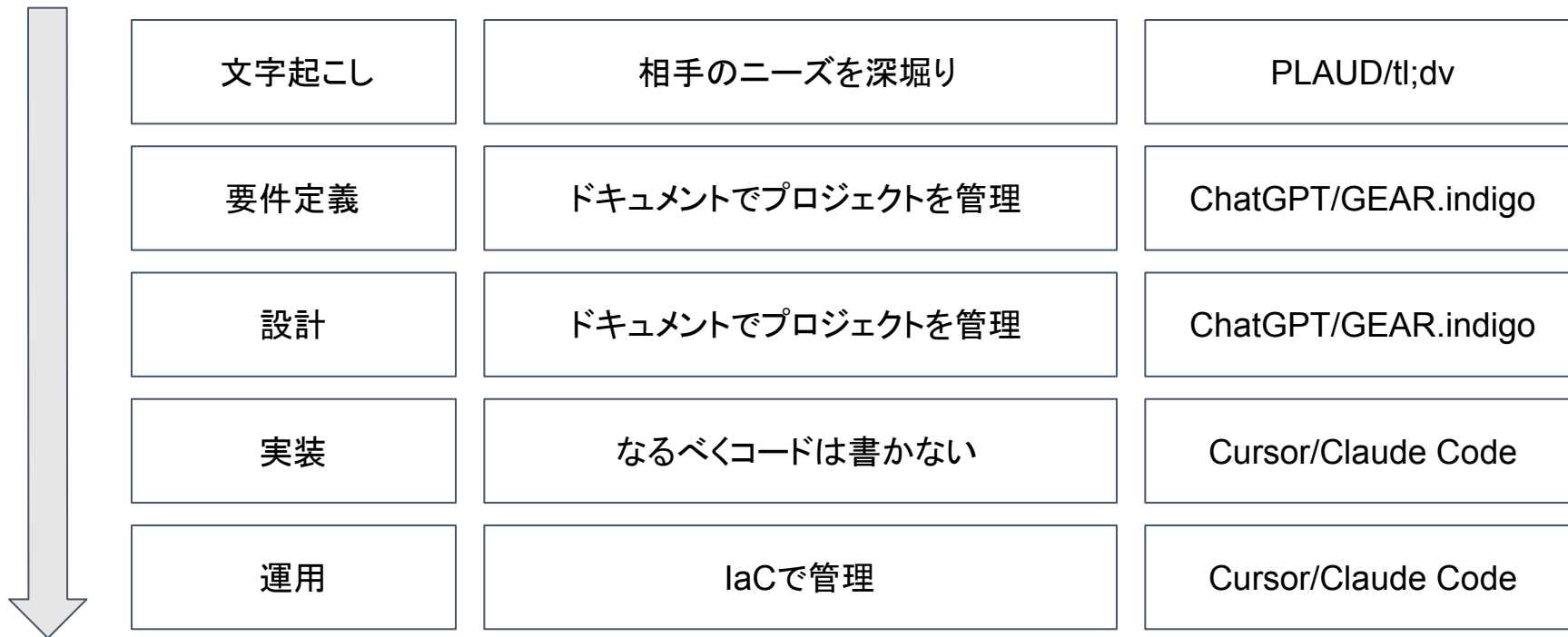
このフロー全てに AIを活用し、高速で開発を回せる手法



実際の運用でのAI活用例



全体像

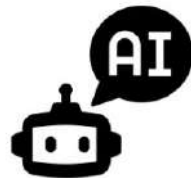


つまり・・・AI駆動開発では**ドキュメントが全て**
AIが一発で状況を把握できるドキュメント状態にしておく
(開発以外のAI活用でも同じ)

ドキュメント不足

このコードの
ここを修正して

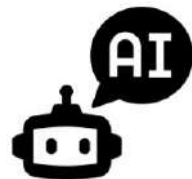
どこっすか？



シーケンス図

このコードの
ここを修正して

そこか、おけ！



どうやったらできるか？ = AI時代のエンジニアに必要な能力

AIキャッチアップ

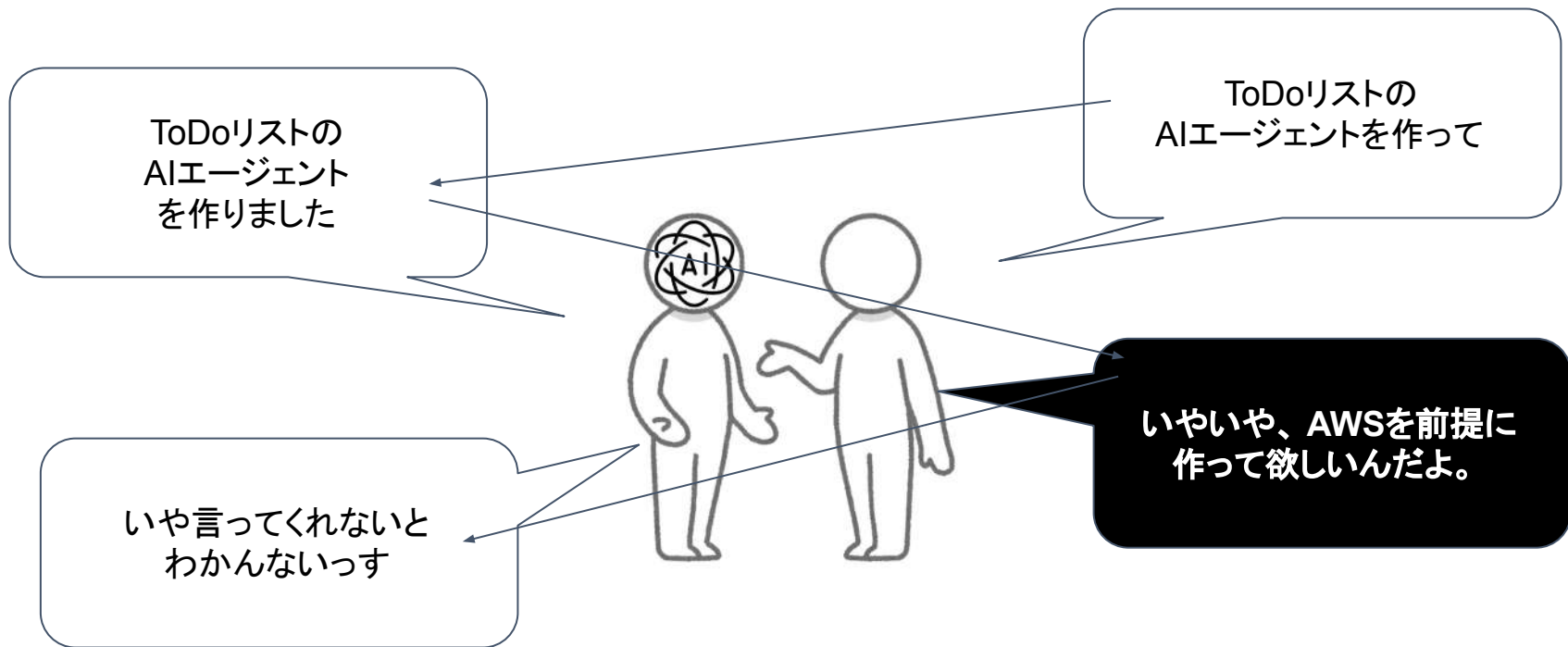
システム基礎知識

どうやったらできるか？ = AI時代のエンジニアに必要な能力

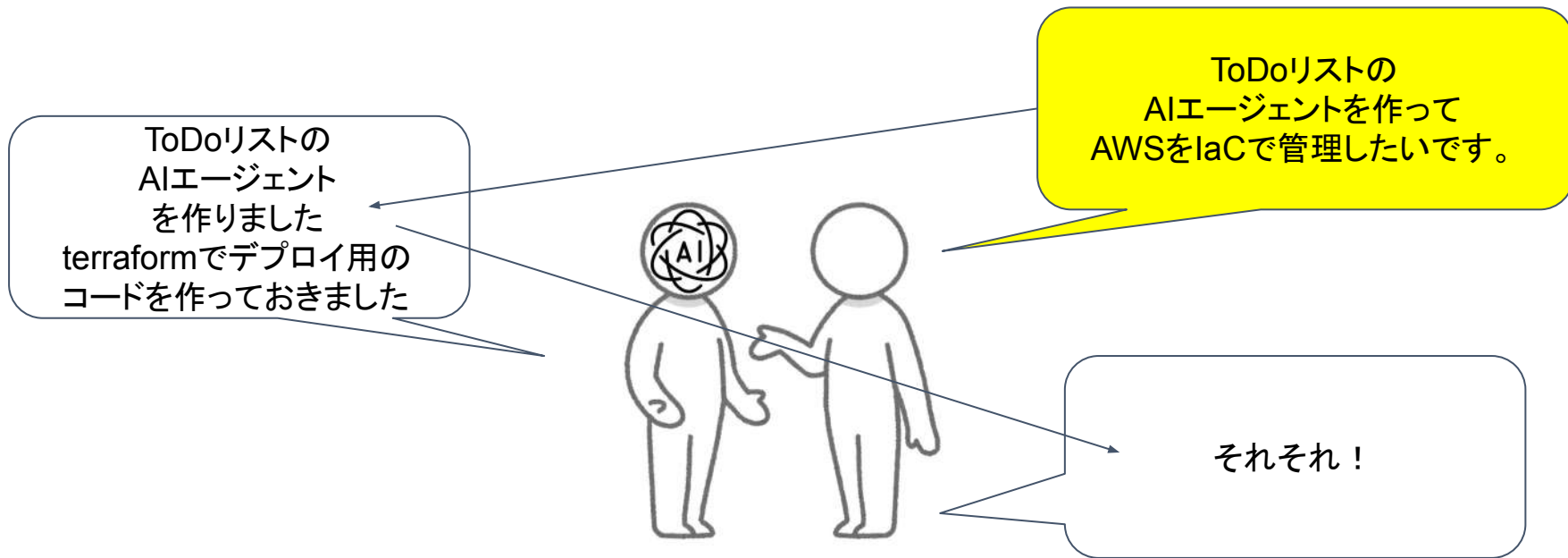
AIキャッチアアップ

システム基礎知識

なぜ基礎知識が必要か： 前提情報は伝えないといけない



前提情報は伝えないといけない イメージを「単語」で伝える必要がある



「何が前提情報になっているのか」は、
教養がないと認識が難しい

前提情報は伝えないといけない イメージを「単語」で伝える必要がある

ToDoリストの
AIエージェント
を作りました
terraformでデプロイ用の
コードを作っておきました



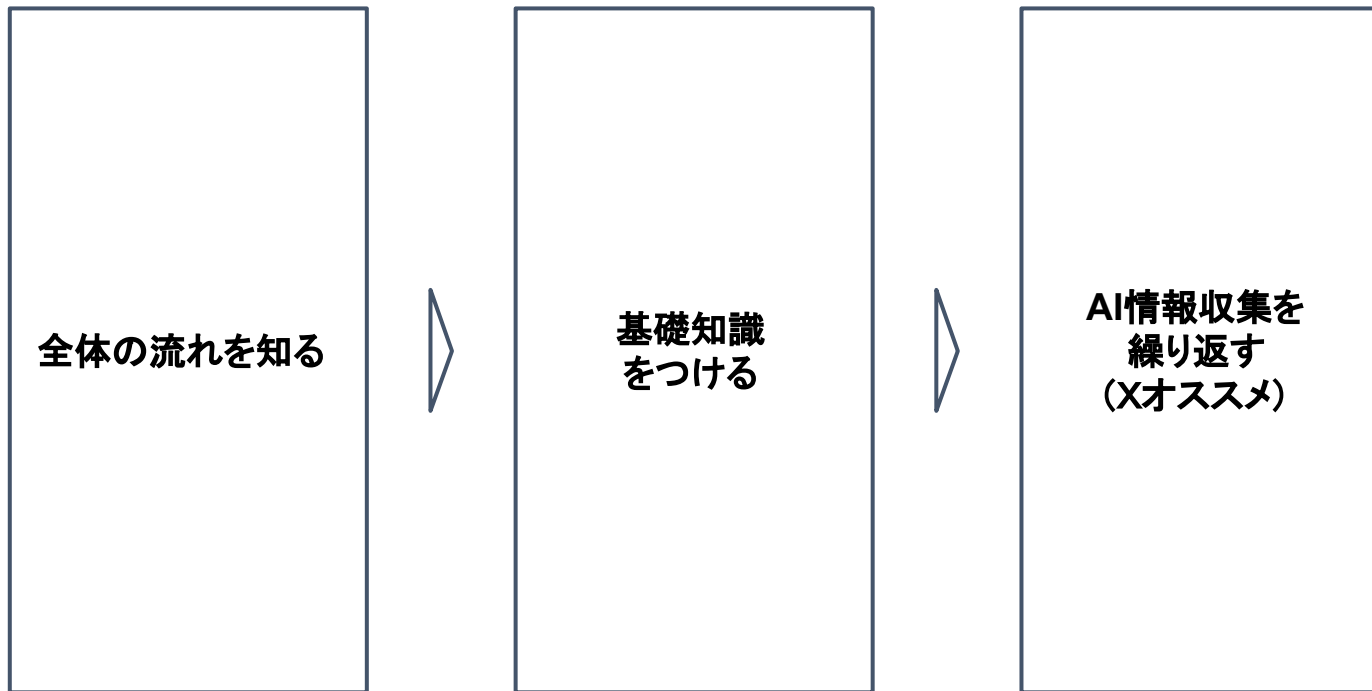
ToDoリストの
AIエージェントを作って
AWSをIaCで管理したいで
す。

前提知識が必要

それぞれ！

「何が前提情報になっているのか」は、
教養がないと認識が難しい

身につける流れ



AI駆動開発で何を開発する？

面倒なことを解消するシステム Whatの前のWhy の部分が大事

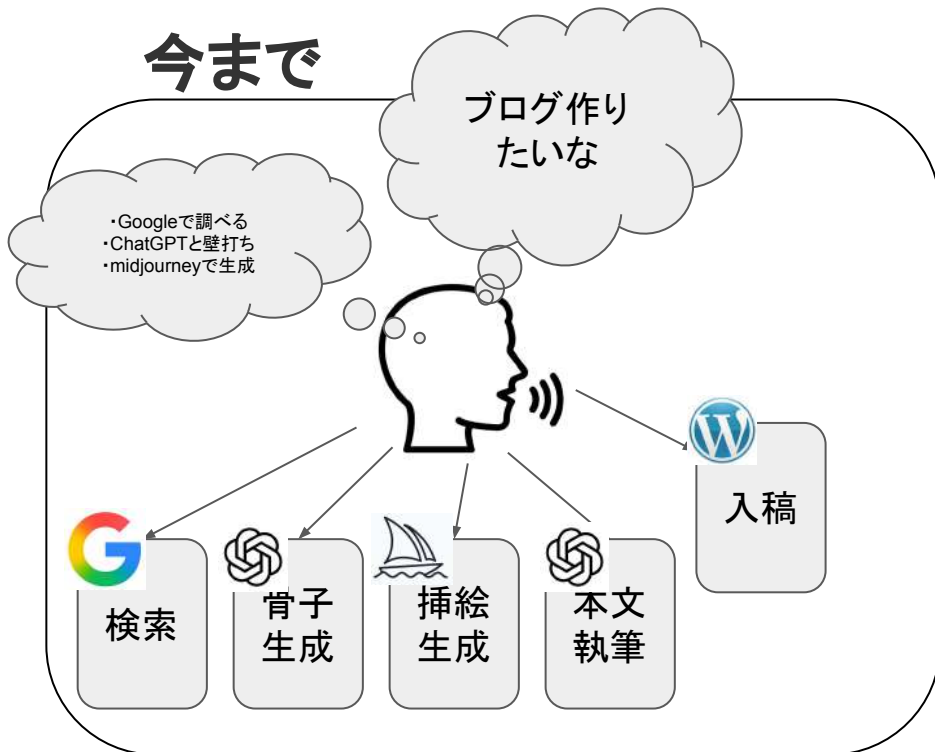
面倒なことを解消するシステム



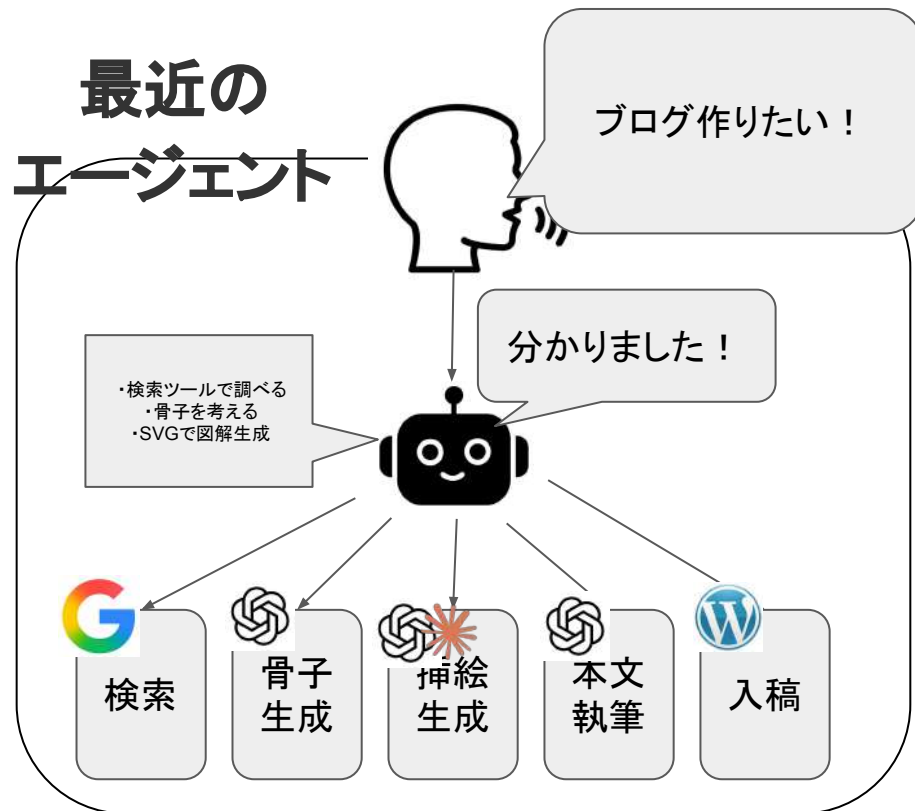
AIエージェント

エージェント化

今まで



最近の
エージェント



AIエージェントを簡単に作れる オープンソースの AIエージェント

フレームワーク



openai/openai-
agents-js

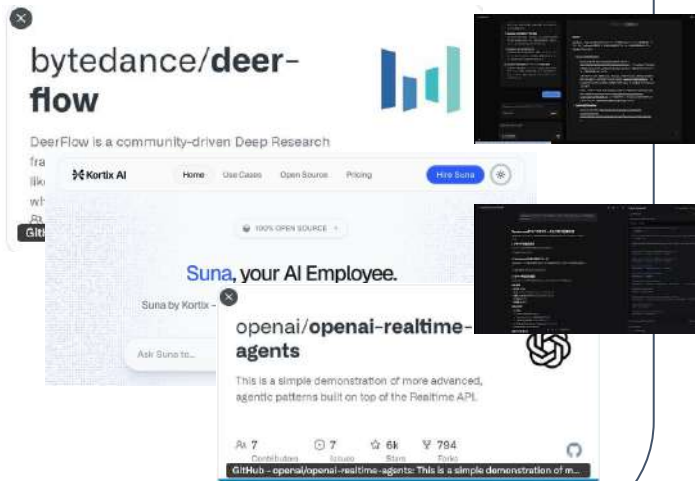
A lightweight, powerful framework for multi-agent workflows and voice agents

17 Contributors 21 Issues 619 Stars 104 Forks

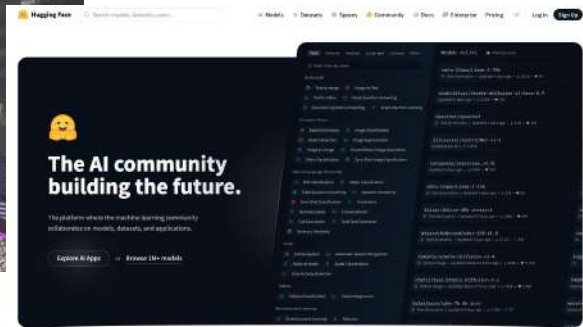
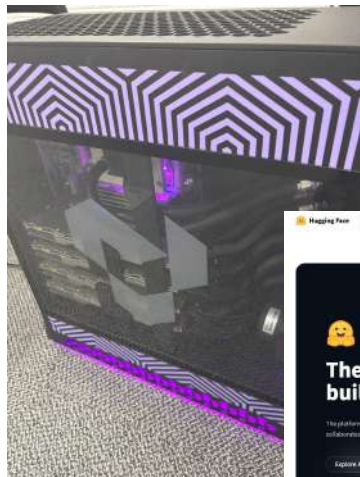
GitHub - openai/openai-agents-js: A lightweight, powerful framework for multi-agent workflows and voice agents



OSS AIエージェント



加えて、オープンウェイトの LLMや ハードウェアに詳しいと尚レア



AIエージェント化する時代において
コストとセキュリティに強み
→特に、大企業においては不可欠

まとめ

まとめ

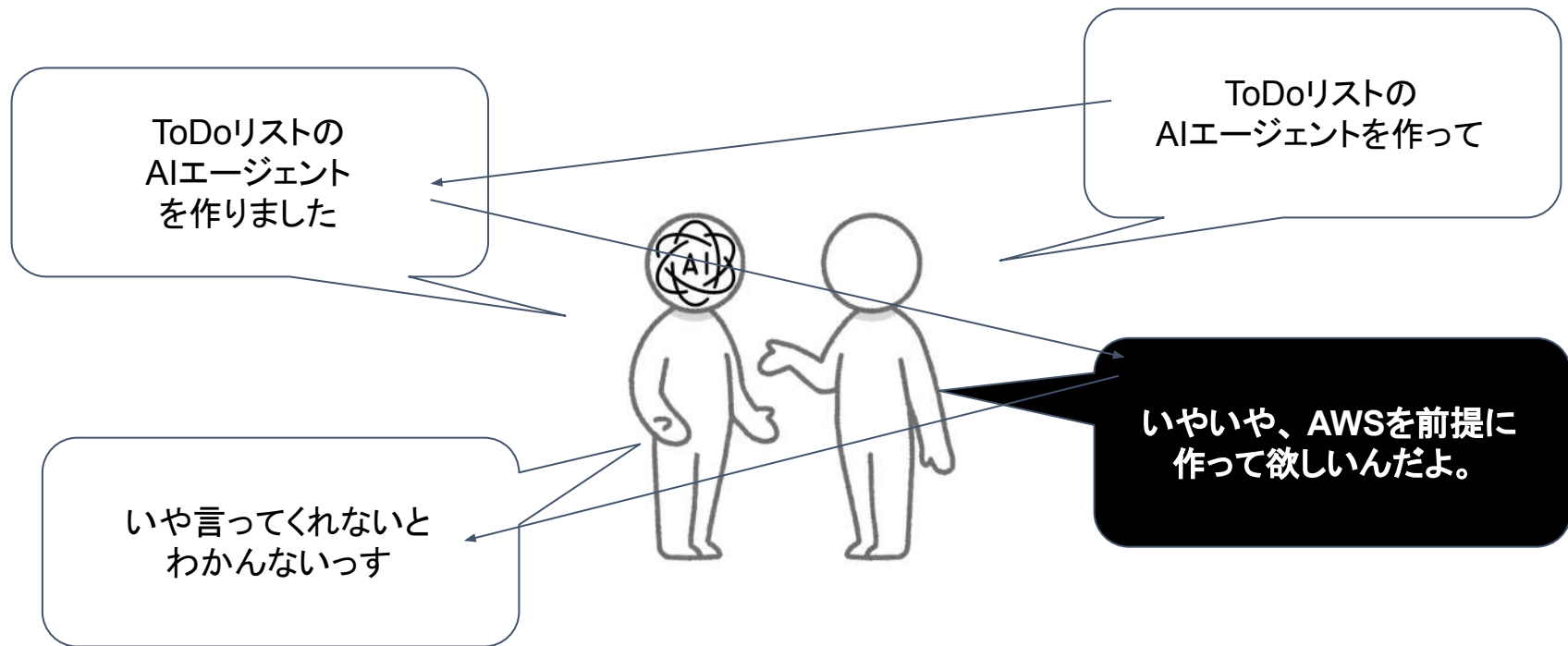
AI時代、技術者として成長するには何が必要か？

まとめ

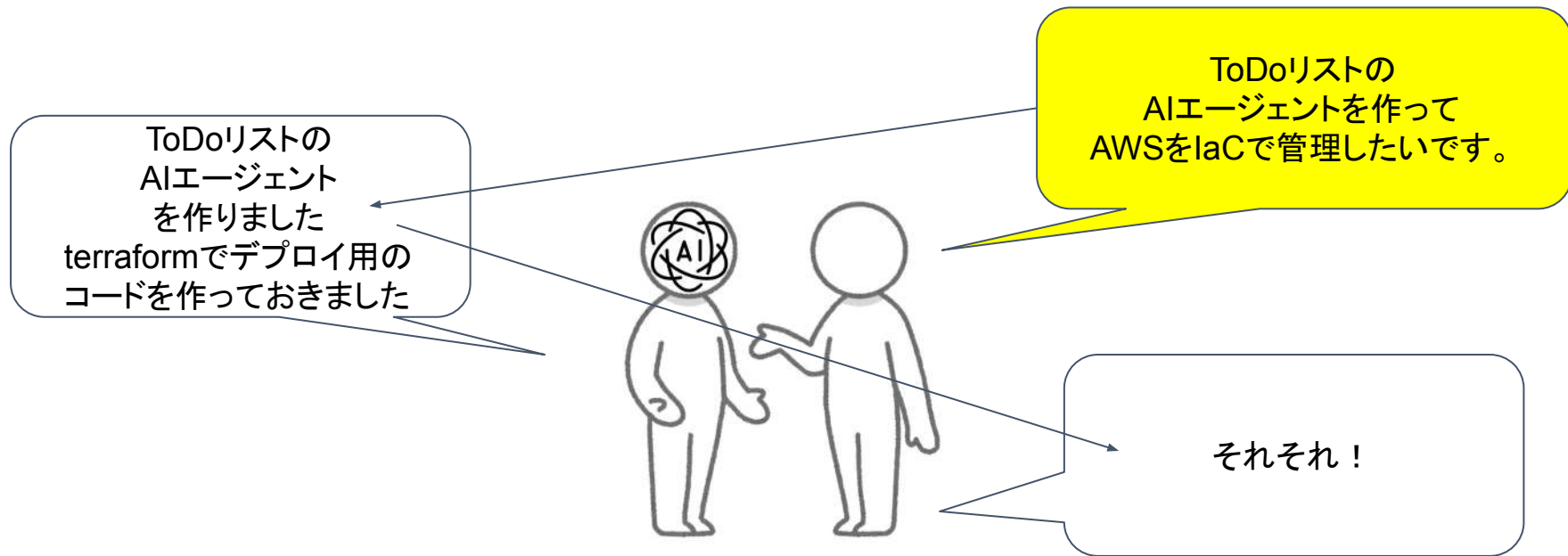
AIキャッチアップ

システム基礎知識

まとめ: 前提情報は伝えないといけない



まとめ: 前提情報は伝えないといけない



**「何が前提情報になっているのか」は、
教養がないと認識が難しい**

まとめ: 前提情報は伝えないといけない

ToDoリストの
AIエージェント
を作りました
terraformでデプロイ用の
コードを作っておきました



ToDoリストの
AIエージェントを作って
AWSをIaCで管理したいで
す。

前提知識が必要

それぞれ！

「何が前提情報になっているのか」は、
教養がないと認識が難しい

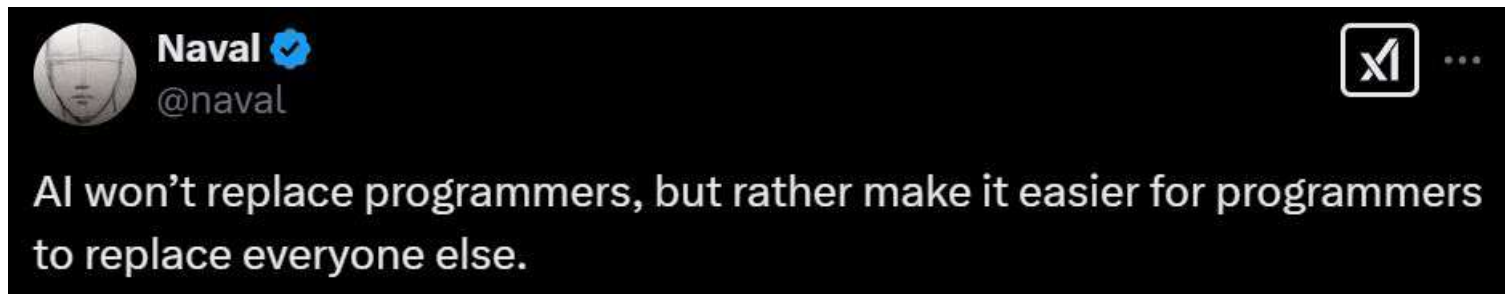
LinuC Open Network IT基礎知識+AI学べます！



安東のX AI学べます！連絡ください



エンジニアオワコン? →NO
エンジニアがすべての仕事を奪っていく。全てのものを創造する



“AI はプログラマーに取って代わるのではなく **プログラマーが他の人に取って代わることを容易にします。**”

活動概要（参加者特典）

参加者の主体的な活動を支援しています。



①交流の推進

slackやイベントを通して、会社を超えたIT技術者同士の仲間づくり。



②勉強会の推進

オープンテクノロジーに関する勉強会への参加。企画・実施のサポート。



③情報発信の推進

Qiita等での技術情報発信を後押し。勉強会講師への挑戦をサポート。



④プロジェクト

認定試験の開発、教材開発など、業界貢献のための活動をサポート。



⑤分科会活動

会員主体のテーマ別活動をサポート。

以上